

VEワークショップ・セミナー（CVS）  
ライセンス申請要領

2021年7月改訂

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

## 公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

### VEワークショップ・セミナー（CVS）ライセンス申請要領

本要領書は、団体あるいは個人コンサルタント等が、それぞれの主催で実施する「VEワークショップ・セミナー（以下「VE-WSS」という）」について、CVS受験資格要件となる「VE-WSS」のライセンスを得るための要件と手続きの方法を説明するものです。

---

#### 1. ライセンス申請に必要な書類

- 1) 「VE-WSS」（CVS）ライセンス申請書（書式1）
- 2) 「VE-WSS」（CVS）内容及び時間配分に関する誓約書（書式2）
- 3) 「VE-WSS」（CVS）で使用するテキスト及び教材等  
※日本VE協会指定の標準テキストを使用する場合は提出不要
- 4) 「VE-WSS」（CVS）修了証の見本

#### 2. 要件

##### 1) VE-WSSについての留意事項

VE-WSSでは、受講者にとって有意義な実際の製品やサービスを対象テーマとする演習を通じて、VEを体験させる必要がある。ただし、対象テーマ（演習教材）は、実際の成果を求めるよりも、第一に教育目的に合わせて選択すべきである。また、VE-WSSは相互作用的（チーム活動中心）であることが必須である。したがって、講義・演習以外で宿題や自習に費やした時間は、VE-WSSの時間数に繰り入れることはできない。

##### 2) VE-WSSの内容と時間配分

VE-WSSの内容は講義と演習で構成し、日本VE協会が定める「VE資格別知識領域」および「VE資格別スキル領域」（VEリーダー、VEスペシャリスト、CVS資格取得を目指す方々の指針として設定したVEの知識とスキルの領域と水準）に準拠していることが必要となる。

講義と演習には、次の内容を含み、合計で64時間以上とする。

VEの概要（定義、価値、実施手順／ジョブプランなど）、実施手順、VEジョブプラン各ステップの活動内容、プレ・ポストVEジョブプラン段階、VE管理、情報の変換、機能分析、会計（コスト）、ファシリテーション

プログラムの内容は、下記を参照のこと

- VE資格別知識領域

- VE資格別スキル領域

※ 日本VE協会ウェブサイト「VEの資格」ページに掲載

<https://www.sjve.org/certify>

- 【参考資料1】SAVE VMF1 VMF2推奨時間配分.docx
- 【参考資料2】VMF 2 Training Slides（ファシリテーション）.pptx

### 3) VE-WSSで使用するテキスト及び教材等

原則として、次の教材またはこれらに準拠した内容の教材を使用する。

- 日本VE協会指定の標準テキスト
- ファシリテーションに関する補助教材（【参考資料2】VMF 2 Training Slides（ファシリテーション）.pptx）

その上で、講師独自のテキストや教材等を追加して構わない。オリジナルのテキスト・教材は、VE-WSSのライセンス申請時にコピーを1部提出すること。

### 4) VE-WSSの講師

VE-WSSの内容と水準について責任を持つ主任講師1名を定め、ライセンス申請時に登録すること。主任講師はCVS資格※<sup>1</sup>を取得していることが必要である。

※<sup>1</sup> CVS：SAVE International（米国VE協会）認定 Certified Value Specialist

### 5) VE-WSSの修了証

VE-WSSの修了者には、下記の項目を記載した修了証を発行すること。VE-WSS（CVS）のライセンス申請時に修了証の見本1枚を添付して提出すること。

- 修了者の氏名
- 修了証発行年月日
- VE-WSSを主催する組織の名称
- 登録された主任講師の署名
- ライセンスを取得したVE-WSSの名称
- VE-WSSのライセンス番号
- 日本VE協会にライセンスを受けたVE-WSS（CVS）であることの説明

### 6) ファシリテーション講座の受講（初回のみ）

SAVE InternationalのCVS受験要件改訂に伴い、ファシリテーションに関する内容

が追記されたことから、初回に限り、VE-WSS主任講師は、ライセンス申請前に以下のいずれかの講座を受講または視聴を完了する。

- 日本VE協会主催「VE活動で求められるファシリテーション実践講座」（18時間）<https://www.sjve.org/semi/21710>
- SAVE E-learning「Instructor Training」Part 1～3視聴（計4時間・英語）

#### 7) ライセンス申請手続き

CVS受験資格要件となるVE-WSSのライセンスを得るためには、本要領書の1)に示す書類を取り揃え、ライセンス料66,000円（消費税込）を添えて日本VE協会事務局長に提出すること（書類を郵送した後に銀行振込で可）。ただし、日本VE協会「バリューデザインスクール」の標準プログラム及び標準テキストを使用する場合は、申請した時点で「審査済み」とみなされる。

事務局長は、提出された書類を認定・審査委員会委員長に回送し、同委員会での審査を要請する。要請を受けた委員長は、同委員会において提出された書類の内容について審査を行い、その結果を事務局長に報告する。委員長から審査結果を受けた事務局長は、会長の承認を得てその内容を書面で申請者に回答する。

審査に合格した申請者または審査済みとみなされた申請者について、日本VE協会からSAVE Internationalに報告し、SAVE InternationalからVE-WSS（CVS）ライセンス番号の発行を受ける。事務局長は、ライセンス料の納付を確認後、ライセンス番号を付した認定証を交付する。

ライセンスの有効期間は2年間とし、2年ごとにライセンス更新手続きを必要とする。更新手続きは、「VE-WSS」ライセンス更新申請書（書式3）の提出とライセンス料66,000円（消費税込）の納付をもって行う。更新手続きが行われなかった場合は、有効期間の終了時点でライセンスは取り消される。

ライセンスを取得したVE-WSSについて運営上の問題が生じた場合は、認定・審査委員会が監査を行う。その結果によりライセンスを取り消されることがある。

「VEワークショップ・セミナー（CVS）」ライセンス申請書（書式1）

「VEワークショップ・セミナー（CVS）」ライセンス申請書

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会会長 齋藤 保 殿

下記 VEワークショップ・セミナー（CVS）のライセンスを申請いたします。  
本申請書及び添付書類に記載された事項は事実と相違ないことを誓約します。  
ここに申請するVEワークショップ・セミナー（CVS）のライセンスを受けた場合は、  
申請した内容、形態通りにVEワークショップ・セミナーを実施することを誓約します。  
また、2年後に更新手続きが必要であることを認識し、有効期間が過ぎても手続きを  
行わなかった場合、ライセンスが取り消されることを承諾します。

申請日 年 月 日

|               |   |
|---------------|---|
| 会社・団体名        |   |
| VE-WSSの名称     |   |
| 代表責任者の所属・役職   |   |
| 代表責任者氏名（フリガナ） |   |
| 代表責任者連絡先住所    | 〒 |
| 電話番号          |   |
| 主任講師の所属・役職    |   |
| 主任講師氏名（フリガナ）  |   |
| 主任講師CVS登録番号   |   |
| セミナー問合せ先部署名等  |   |
| 電話番号          |   |
| E-mail        |   |

ファシリテーション講座の受講（初回のみ）いずれかにしてください

日本VE協会「VE活動で求められるファシリテーション実践講座」

SAVE E-learning「Instructor Training」Part 1～3

---

弊会WEBサイトへのWSS情報の掲載について選択してください。

掲載を希望する 掲載を希望しない

WEBサイトへの掲載を希望された方で、貴社サイトへのリンクを希望される場合は、リンク先URLをメール（info@sjve.org）にてお知らせください。

「VEワークショップ・セミナー（CVS）」ライセンス申請書（書式2）

以下のいずれか該当する項目に✓をつけてください。

- 日本VE協会・標準テキストを使用する
- 日本VE協会・標準テキスト以外のテキストを追加で使用する

「VEワークショップ・セミナー（CVS）」ライセンスの内容及び時間配分

| 会 合 | 項 目 | 内 容 | 時間配分 |     |
|-----|-----|-----|------|-----|
|     |     |     | 講 義  | 演 習 |
|     |     |     |      |     |

注) 記入欄が不足の場合は、複数枚に分けて記入してください。

「VEワークショップ・セミナー（CVS）」ライセンス更新申請書（書式 3）

「VEワークショップ・セミナー（CVS）」ライセンス更新申請書

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会会長 齋藤 保 殿

下記 VEワークショップ・セミナー（CVS）の更新を申請いたします。

本申請書及び添付書類に記載された事項は事実と相違ないことを誓約します。

ここに申請するVEワークショップ・セミナーが更新された場合は、申請した内容、形態通りにVEワークショップ・セミナーを実施することを誓約します。

また、2年後に再度ライセンス申請手続きが必要であることを認識し、有効期間が過ぎても手続きを行わなかった場合、ライセンスが取り消されることを承諾します。

申請日 年 月 日

|               |   |
|---------------|---|
| 会社・団体名        |   |
| VE-WSSライセンス番号 |   |
| VE-WSSの名称     |   |
| 代表責任者の所属・役職   |   |
| 代表責任者氏名       |   |
| 代表責任者氏名フリガナ   |   |
| 代表責任者連絡先住所    | 〒 |
| 電話番号          |   |
| 主任講師の所属・役職    |   |
| 主任講師氏名        |   |
| 主任講師氏名フリガナ    |   |
| 主任講師CVS登録番号   |   |
| セミナー問合先部署名等   |   |
| 電話番号          |   |
| E-mail        |   |

前回申請時からの変更事項の有無について✓ をしてください。

変更のある場合は変更内容を確認できる資料を添付してください。

1. 内容及び時間配分表  変更なし  変更あり（資料添付）
2. テキスト及び教材  変更なし  変更あり（資料添付）

---

弊会WEBサイトへのWSS情報の掲載について選択してください。

掲載を希望する  掲載を希望しない

WEBサイトへの掲載を希望された方で、貴社サイトへのリンクを希望される場合は、リンク先URLをメール（info@sjve.org）にてお知らせください。